

令和4年度 指定管理業務評価票(案)

資料 5

府立万博記念公園	指定管理者:万博記念公園マネジメント・パートナーズ	指定期間:平成30年10月1日～令和10年9月30日	所管課:日本万国博覧会記念公園事務所
----------	---------------------------	----------------------------	--------------------

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言	
I 提案の履行状況に関する項目							
No.1	(1)施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【2022年度の管理運営方針】 2022年度は、改めてフェーズ1を「緊急対策期／反転攻勢 準備期」と位置付け、経営の健全化と新しい生活様式に基づく、安全で安心して利用できる公園を目指す。経営の健全化のためには、新様式での公園利用の推進で最大限の集客を行うことと、継続して経費削減を行っていく必要がある。アリーナ建設に伴う中央駐車場移設計画について、利用者・周辺住民の利便性を損なわぬよう、事業者・大阪府・周辺施設と連携して慎重に計画を策定していく。引き続き「大阪・関西万博のインパクトを生かした魅力の創造・発信」のため、公園のDX化計画等、反転攻勢に向けた準備、基礎固め、受入環境整備等を着実に実施したい。</p> <p>【実績】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の対策を行った。 桜まつりの夜間延長営業の実施見送り コンサートなど人が多く集まるイベントにおいて、自主的に人数制限をかける処置を実施した。 ・園内での対策のため、入園者に対する注意喚起を適切に行ったほか、園内事業者に対しても防止対策への協力を適切に働きかけた。 2020年1月31日より継続して感染拡大防止の周知徹底 &amp; 各施設にアルコール消毒液の設置を指示・実施。 ・台風14号の影響により吹田市及び近隣に警報が発令されたため、9/19(月・祝)・20(火)は計画休園を行った。 ・イルミネイト万博&amp;アジア屋台with万博ビアガーデン2022 SUMMERを 8/11(木・祝)～21(日)のうち10日間開催し、期間中夜間延長を実施した。(17:30～21:00) 紅葉まつりの期間中、11月の3日(木・祝)、5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、23日(木/祝)の8日間については、日本庭園ライトアップに伴い、夜間延長を実施した。(17:30～21:00)</p> <p>【自己評価】 今年度上期は上記の通り、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、桜まつりの夜間ライトアップの中止やイベントの人数制限を行うなどコロナの影響を受け、コロナ以前の2019年度に比べ、約80%の来園者数となった。下期からは影響が弱まり、Red Bull Box Cart Race・花火大会・ドラクエウォークなど新規のイベント誘致により2019年度の約110%となった。しかし、年度通期の来園者予想は200万人程度となる見込みで支出を賄いきれない来園者数には到底及ばず、加えてウクライナ紛争に端を発した燃料高騰と最低賃金の上昇などにより約3億円の収支赤字となる見込み。係る状況下、今後の運営を断念することも避けられない状況である。</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○自主事業の実施、新規イベントの誘致などによるにぎわいの創出・来園機会の拡大に努められた。</p>	A	
No.2	(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】 ①団体予約の適正な管理を行った。 ②行為許可申請書の平等利用に基づいた許可と適正な管理を行った。 ③公園施設使用許可申請書の平等利用に基づいた許可と適正な管理を行った。 ④使用料減額・免除申請書の平等利用に基づいた許可と適正な管理を行った。</p> <p>1. 共通項目 ・人権、バリアフリー、CS・マナー研修・・・集合教育実施が困難なため、バリアフリー+CSを統合し通信教育にて実施予定。 ・CSR、個人情報研修 (3月実施予定)・・・CS研修も含め、三密回避のため集合研修を取りやめオンライン研修を3月に実施予定 ・消防訓練、AED研修 (8月・2月実施)・・・エリア別(園内、運動施設)に年2回、及び大阪府合同で全体訓練を1回実施予定</p> <p>2. 施設のストレスフリー化を推進する。 ・2021年度に引き続き、チェックポイント・日本庭園正門撤廃の効果、北口臨時閉鎖による運営への影響度検証を継続。 ・既存施設のストレスフリー化のための調査、改善計画と実施 ・案内サイン、トイレの改修について継続検討。</p> <p>3. マナー向上の取組実施・・・違反喫煙頻発箇所については巡回警備、清掃を重点実施(継続実施事項)</p> <p>4. 不法占拠、利用制限への対応・・・該当事案発生なし</p> <p>5.トラブルへの対応を行う。・・・No.8にて記載</p> <p>●許可申請書・・・適切に管理した。管理簿を作成し適切に管理した。行為許可交付件数:331件(4月～11月)</p> <p>【自己評価】 CSR推進や個人情報保護についてはBMPの重要な課題の一つととらえ、研修についても可能限り多くの対象者の受講を促した(2023年3月予定・90名受講予定)。年度を通して重大なコンプライアンス違反は発生していない。 各種申請書式については、全国的な流れを受けて「はんこレス」を実現した。また代表者名や参加人数等の記載箇所において申請者にわかりにくい表現については適宜修正改良をすすめ、常に実態に沿った様式となるようアップデートを重ねている。これにより記入不備による確認を減らし、許可業務を効率化できている。 西地区で発生したクレーム案件について、個別現場スタッフにCSR研修を実施した。</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○申請書類においては、適切に対応できており、自主事業の行為許可申請手続きもれの不備があった場合も指導により速やかに改善が図られた。</p> <p>○西地区テニス無料体験レッスン中に発生した事象を踏まえ、研修を活用するなどして再発防止に努められたい。</p> <p>○チェックポイント・日本庭園正門撤廃の効果検証を行い、更なる施設のストレスフリー化を図られたい。</p>	A	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言
<p>(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策</p> <p>(4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策</p> <p>(5)安全・安心・快適な利用の確保</p>	<p>(※1) 文化・観光拠点形成・発信の取組みは適切に実施されたか。</p> <p>・インバウンドを増やすための効果的な投資 ・観光拠点形成に向けた集客性が高く継続性のある事業 ・文化・芸術活動を行う場としての利活用 ・多数の方が訪れる観光拠点とするための広報戦略</p>	<p>文化観光拠点形成・発信の取組み 【実績】 1自然文化園と日本庭園の一体化によるゴールデンルートの実現 ・園内モビリティの運行を視野に入れ、ゴールデンルートを公園のメインストリートとして確立させる。 園内モビリティを活用したゴールデンルート活性化については8月イルミナイト万博、11月紅葉まつりライトアップにてパークタクシーの運行を行った。 ・日本庭園エリアへの投資による観光拠点形成 ①日本庭園の魅力化 ②日本庭園の魅力を最大限引き出すコンテンツ創造 大阪文化芸術支援プログラムにて書道ワークショップ、弦楽四重奏とアートと音楽イベントを実施し日本庭園の魅力を発信。 イルミナイト万博&amp;アジアン屋台with万博ビアガーデン2022 SUMMER 8/11(木・祝)~21(日)のうち10日間及び、紅葉まつりの期間中11月の3日(木・祝)、5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)、23日(木/祝)の8日間、日本庭園の紅葉、竹林、各泉、茶室、蓮庵周辺のライトアップを行い魅力を発信。 2022年度秋の紅葉夜間ライトアップの来園者数は3,076人 うち1,116人が電子チケット利用された(全体の36%)。 2020年度 ライトアップ入園者数8,133人 うち電子チケット2,845人(全体の32%) ・ナイトステージを実施 8/11(木・祝)~8/15(月)、8/20(土)・8/21(日)吉本芸人による大道芸パフォーマンス 11/20(日)スペシャル弦楽トリオ「エラブル」のコンサート 11/12(土)~27(日)日光猿軍団による「猿まわし」公園 ・汎庵・万里庵の特別公開に合わせて呈茶を実施 11/5(土)~12/4(日)10:00~16:00/ライトアップ時は20時20分まで ③日本庭園に来園者を引込むゴールデンルートの確立 ・日本庭園正門の大扉も開放することができたので、間口が広がり自然文化園の一体化が促進されたが、間口が広がったことでカメラセンサーで計測できていない入園者が相当数存在すると推定している。 ⇒ 2021年6月~12月①自然文化園(入園者数:781,914名)②日本庭園(入園者:89,987名)構成比:11.5% 2022年6月~12月①自然文化園(入園者数:1,611,282名)②日本庭園(入園者:199,201名)構成比:12.4%</p> <p>2.自然文化園 西エリアの活性化 ・2022年度もコロナの影響を鑑み、西エリア連携について実施内容を検討する 3. 文化芸術活動を行う場としての利活用 ・太陽の塔の活用 入園券とのお得なセット券を販売。※販売数:①モノレール13,315人②万博BEAST244人③紅葉まつりライトアップ1,447人④イルミナイト万博夏5,062名⑤夏休みペーパークラフト171名⑥やってみた展517枚⑦さくら祭りEXPOCITY会員優待券1,167枚 合計41219枚 総額14,552,205円 ・予約セット券の活用 予約セット券の販売・・・日本庭園ライトアップWebチケットを販売(1,447人)日本庭園夜間来園の3割強のお客様が利用。 11/26(土)万博花火がアートになる日専用入園券を販売(コンビニ発券チケット)2万8千人中、約2万人のお客様が購入、混雑緩和に大きな効果を発揮した。</p> <p>・EXPO'70/パビリオンの活用 2022/3/12(土)~5/8(日)企画展『やってみた展』を実施。 体験型を中心として比較的若年層が楽しめる企画として新たな企画展の形を作り出すことができ、今後の企画展の内容にも幅ができてよりEXPO'70 パビリオンへも興味を持って頂けるようになったのではないかと感じた。 8/26(金)~ 2/26(日)企画展「大阪万博と万博記念公園の歩み」を実施。 8月12日とシンボルゾーンのペーパークラフト製作キットを開発、それを実用したワークショップを実施します。 70年万博を知らない世代にも万博レガシーを継承し、未来へ繋げていきます。 太陽の塔:電子チケット87枚 当日現金チケット73枚 合計160枚 エコバック:電子チケット8枚 当日現金チケット8枚 合計16枚 合計 電子チケット95枚 当日現金チケット81枚 総合計176枚</p> <p>【自己評価】 本年度は初めて日本庭園の活性化事業として夏のイルミナイトを東エリアの蓮池及び庭園前でアジアン屋台を実施。紅葉まつりのライトアップも継続実施し多数来園頂いた。電子チケットも多額販売し、万博花火の際は入園券のWEBチケットの事前販売で入場の混乱を緩和させる事が出来た。今後も継続的に利用者向上を図り、キャッシュレス化、DX促進を進め継続的にスマート化、DX化を進めていきたい。又共催イベントとして大型の花火大会を実施。運営面を修正しながら北摂のレガシーとなるイベントになる様継続実施していく予定。</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○日本庭園の魅力創出について、新たにイルミナイト万博の期間中ライトアップを実施したことは評価できるが、投資による観光拠点形成について早急に実施し計画のリカバリーを図りたい。</p> <p>○万博記念公園エリアの各施設及び交通機関との連携によるWEBセットチケットを販売開始するなど、来園者サービスの向上やキャッシュレス化を推進しながら集客活動を行ったことは評価できる。</p> <p>○YoutubeやFacebook等のSNSを活用した広報戦略を行い、フォロワー数を増やす努力を行った。また、5月に公式LINEアカウントを開設し、売店の割引クーポン等を活用した積極的な広報活動を行った。</p> <p>○インバウンド誘致や海外メディアと連携した情報発信等について、次年度以降の来園者増に繋がる策を期待する。</p>	A	

No.3(II)

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価	大阪府の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
		<p>4.広報戦略</p> <p>①マーケティングの実施は新型コロナウイルスの影響により中止。 来園者アンケートの実施:5月調査 11月調査 計2回実施</p> <p>②ターゲットの明確化と、最適チャンネルを使用した広報の実施</p> <p>・ターゲットを定めたプロモーションの実施</p> <p>①国内旅行(全国):エースJTB太陽の塔・パピリオン入館セット4/1~9/30実施分の継続販売中。 ②国内旅行・学校団体(全国):レガシーツアーなどJTBならではの商品&amp;大阪参加体験プログラムの継続販売。 ③REDEEとの連携による教育団体、法人団体向け商品造成JTBと連携で商品発売中。 ④万博記念公園のSDGSの取組を学ぶ体験プログラムツアーを実証的に実施(大阪府立山田高校SDGsプログラム) ⑤インバウンド: FunJAPANweb 太陽の塔取材記事掲載中、アジア圏ターゲット(アジア5言語+英語)(’22.1~掲載期間1年単位再延長申請あり)</p> <p>・主に教育旅行団体向け資料として万博記念公園が取り組むSDGs資料について公園HPでも掲載準備中</p> <p>・エリアプロモーションのための更なる連携</p> <p>●周辺自治体・事業者・近隣大学などとの連携</p> <p>【EXPOCITY】</p> <p>デジタル懸垂幕及び各サイネージで公園イメージ動画(四季イベント)の告知。 三井ショッピングカード保有者への自然文化園入園券の優待webチケット販売 販売枚数 小中学生152枚:高校生以上1015枚</p> <p>【大阪モノレール】</p> <p>・万博記念公園を中心に各駅サイネージ及び駅貼ポスターの掲出で公園四季イベントの告知。 ・万博記念公園駅構内にて公園PR専用ブースを設置、イベント毎に生花を中心として展示を行いPRを継続的に実施した。</p> <p>【その他】</p> <p>・桜まつり祭り、イルミナイト万博(夏)、紅葉まつり、イルミナイト万博(冬)において京阪電鉄・阪急電鉄の主要駅にてイベントポスターの掲示を実施。 ・吹田市役所とプロモーション連携 市役所1Fロビー大スクリーンにて公園イメージ動画の配信。 ・広報と連動したWEBチケット販売 5月9日より2022年度版 万博お得チケット(WEB前売割引チケット・一部コンビニ販売もあり)及びイベントと連携したチケット発売開始</p> <p>①モノレール13,315人②万博BEAST244人③紅葉まつりライトアップ1,447人④イルミナイト万博夏5,062名⑤夏休みペーパークラフト171名⑥やってみた展517枚⑦さくら祭りEXPOCITY 会員優待券1,167枚 合計41219枚 総額14,552,205円</p> <p>【自己評価】</p> <p>インバウンド誘致に関しては、新型コロナウイルスの影響の継続により特に実施はしておらずマイクロツーリズムを意識した誘客にシフトして実施。SNSを活用したデジタルプロモーションに力を入れた。公式Youtubeの配信開始(4-12月 12動画を配信)Instagramの配信に関しても動画の配信を増やしたり、Instagramを活用した写真コンテストを実施しフォロワー数を増やす努力を継続した。JTBをはじめとした教育旅行団体取り扱いのセクションに、万博記念公園エリアの他施設と共同で説明会などを実施。2020年度のGotoトラベル事業で配備した、QRチケットのシステムを活用し、自然文化園、モノレール、万博ビースト、EXPO'70パピリオンのセット券の継続的な販売を、コンビニ、旅行会社、公園オフィシャルHP、OTA(体験コンテンツ販売サイト)で開始した。JTBに続き(近畿日本ツーリスト)との観光入場クーポン契約を行い、全国展開での個人・団体向けの商品造成が実現。太陽の塔を中心とした商品化により、費用面だけでは掲載出来ない媒体での展開を実現した。この新型コロナウイルス禍においては最大限の集客活動ができたと評価する。</p>	A	(前ページにまとめて記載)	A	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言
No.3(2) (3) 公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4) 施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (5) 安全・安心・快適な利用の確保	(※1) 文化・観光拠点形成・発信の取組みは適切に実施されたか。 ・インバウンドを増やすための効果的な投資 ・観光拠点形成に向けた集客性が高く継続性のある事業 ・文化・芸術活動を行う場としての利活用 ・多数の方が訪れる観光拠点とするための広報戦略	【実績】 1. HPの適正運用 4月トップページ改修、メニュー整理(4/20) 不要ページの削除(4/20) リンクの整理修正(4/20) 2. WEB・SNSでのデジタルプロモーションの実施 4月Instagramフォトコンテスト最終審査結果発表HP公開中 YouTube公式アカウントで配信1回(チューリップフェスタ動画と同イベントページへの埋め込み) 5月YouTube公式アカウントで配信1回(ローズフェスタ動画と同イベントページへの埋め込み) インスタグラムフォトコンテスト入賞作品の紹介 LINEを活用した情報配信開始:5/18 ローズフェスタ・アウトドアパーク・魚ジャパンフェス 6月YouTube公式アカウントで配信1回(万博記念公園6月の花)インスタグラムフォトコンテスト入賞作品の紹介 LINE配信 6/1「あじさい祭 俳句の募集」・「季節の花の見どころ 日本庭園花菖蒲」・「新店舗紹介 吉たこ」 6/22「早朝観蓮会」・「モーターキャンプエキスポ」・「お得なクーポン:夢の池サイクルポート・おもしろ自転車広場」 7月YouTube公式アカウントで配信2回(万博テニスガーデン・万博フットサルクラブのご紹介、ひまわりフェスタ) インスタフォトコン入賞作品の紹介「あじさいの俳句」入選句決定 LINE配信 7/6「早朝観蓮会」・「ひまわりフェスタ」・「インターナショナルキャンプ参加募集」・「お得なクーポン:シアトルズベストコーヒー、ノースガーデン」 7/22「イルミナイト万博」・「ワークショップEXPO2022」・「お得なクーポン:吉たこ」 8月YouTube公式アカウントで配信2回(イルミナイト万博 2022 SUMMER予告編・開催現場編)(Instagram・Facebookでも告知) インスタフォトコン入賞作品の紹介 LINEアカウント&クーポン展開の告知 LINE配信 8/17「イルミナイト万博」「お得なクーポン:イルミナイトJAFアプリケーション」「お得なクーポン:イルミナイト三井ショッピングパークカード」 9月YouTube:配信1回(コスモス・コキアフェスタ) Instagram、Facebook(コスモス・コキアフェスタ、休園のお知らせ、フォトコン作品紹介etc.) LINE配信9/5 EXPO'70パビリオン特別展、万博夜空がアートになる日9/27 コスモスコキアフェスタ 10月YouTube:配信1回(紅葉まつり) Instagram、Facebook(紅葉まつり、フォトコン作品紹介、イベント情報等) LINE配信10/19: BOXCARTRACE・秋のローズフェスタ・クーポン万博BEAST天空回廊イベント・バンクリリース 10/1~コスモス・コキアフェスタ(~10/30) 11月YouTube:配信1回(日本庭園ライトアップ)Instagram、Facebook(紅葉まつり&日本庭園ライトアップ、フォトコン作品紹介、イベント情報等) ・LINE配信 11/2 紅葉まつり&日本庭園ライトアップ告知11/19 紅葉まつり&日本庭園ライトアップ・猿まわし告知11/25イルミナイト万博&ラーメンEXPO開催告知 イベントバンクリリース11/1 紅葉まつり(~12/4) 11/1 紅葉まつり日本庭園ライトアップ(~11/23) 5. 近隣大学等との連携による情報発信等 3. 各電鉄会社の掲示板等を活用した情報発信など ◇万博記念公園駅券売機上、構内改札上の電照看板設置中('20.10/30~) 大阪モノレール 四季イベント(18各駅でポスター掲示・サイネージ放映、車内サイネージ放映) 万博記念公園駅構内でプロモーションスペースとサイネージ放映。(生花とポスター・サイネージ) ・交通広告 桜まつり車内吊りB3ワイド 大阪モノレール:3/21~4/3 北大阪急行:3/21~27、3/31~4/3 主要駅での紅葉まつりポスター掲出とBAMPAKU NEWS設置 阪急電鉄・京阪電鉄との連携 4. メディア及び関係期間への情報発信調整 ①メディア関連 報道提供(リリース)累計 245回 取材対応テレビ累計93件、ラジオ累計4件、新聞累計47件、雑誌累計22件、WEB累計61件、その他累計18件。 ②観光関連 ・大阪観光局への指定管理イベントの情報提供、大阪観光局HP OSAKA INFOへの掲載。 四季イベントの内容掲載 5. 各種情報発信について ①公園だより「BAMPAKU News」の発行 4月~11月印刷365,000部+シテライフ折込2,560,000部=計2,925,000部※11月分まで ②イベントポスターの制作・設置 3/14~4/10:桜まつりポスター掲出(モノレール&北急中吊りB3ワイド:600部、公園関係先掲示用B1:10部、B2:20部、近隣駅広報ラック掲示用B3:20部、大阪モノレール全18駅掲示B1:18部) あじさい祭、早朝観蓮会 各15枚園内ゲート等ポスター掲示箇所、モノレール万博記念公園駅(構内・ポスタースペース)掲出。 園内ゲート等ポスター掲示箇所、モノレール万博記念公園駅(構内・ポスタースペース)掲出。ひまわりフェスタ(7/11~8/7)、イルミナイト万博(8/1~21) ・サイネージ(タテ型、ヨコ型の2種) ローズフェスタ(5/1~6/5)、あじさい祭(6/3~26)、早朝観蓮会(6/20~7/10)ひまわりフェスタ(7/11~8/7)、イルミナイト万博(7/24~8/21)、コスモス・コキアフェスタ(9/24~10/30)、ローズフェスタ(10/15~11/6)、紅葉まつり(10/31~12/4)イルミナイト万博(11/24~12/30) ③各種情報発信 ・HP更新、SNSの効果的運用 パークガイド:更新141回 HP:更新 926回実施(お知らせ、施設情報等) SNS投稿 64回実施 Instagram 145回投稿(お知らせ、施設情報、イベント情報等)Instagram ストーリーズ 79回投稿(野鳥コンテンツ) 万博記念公園 公式Facebook 145回投稿(お知らせ、施設情報、イベント情報等)Expoパビリオン 公式Facebook 6回更新 Youtube 11回投稿 中央口・庭園前ゲートデジタルサイネージ更新 10回大型ビジョン更新 5回インフォメーションサイネージ更新 9回 メールマガジン配信 3回 ライン配信:15投稿 ・園内開花情報の発信:43回 ・公園広報専用ラックの活用 えきすぼさんぽ配架 4/23 桜まつりB3ポスター展開中(3/19~4/12) ・PR関連貸付対応写真242件+映像16件+有償アーカイブ貸付33件 ・園内マップ、パンフレットの作成・・・4/18園内マップ日本語版増刷160,000部納品 自然文化園日本庭園新マップ製作取り組み中 ・メルマガを廃止し、公式LINEを新たに開始。 ・SNSフォロワー数(4月→12月末日) Instagram 18,129→20,763 Facebook 27,738→27,528 Youtube 816→1050 LINE 0→6,728  【自己評価】 えきすぼさんぽをBAMAPKUNewsに名称を変更し配布先・部数の見直しを実施し効率的な配布を継続実施。 SNS(Instagram、Facebook、Youtube、LINE)ホームページへの掲載(更新)も量的な露出とともに、より新鮮な記事内容での情報提供とクイックレスポンスでの運用を実施継続した。 媒体掲載等メディア露出においてはプレスリリースおよび従来からの国内媒体を中心に取材対応・画像貸出等による露出を維持。 その他広報活動としては、新たに大阪モノレール、EXPOCITYのサイネージ及びポスター枠をフルに活用し万博エリア内来訪者へのPRを積極的に実施した。又阪急電鉄、京阪電鉄との関係構築により主要駅への広報物展開を実施、主要イベントのポスター・チラシの掲出を実施する事で近隣エリア以外へのPR施策として新たな顧客創出に向けた展開を実施。電子チケット販売を更に拡大し、コンビニや公式HP、体験コンテンツ販売WEBサイトでの新規発売など販路拡大と今後のスマート化に向けての一定の成果を得る事が出来た。インバウンド誘致に関しては、コロナの影響が継続し具体的な施策は実施に至らなかったが、次年度以降に向けてOTAを通じた販売準備等を進めている。	A	(前ページにまとめて記載)	A	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言
No.4(Ⅱ) (3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (5)安全・安心・快適な利用の確保	(※2) 自然文化園・日本庭園の活用、博覧会の遺産(レガシー)の活用及び自然環境を活かした取組みは適切に実施されたか。 ・太陽の塔、EXPO'70パビリオン、日本庭園(茶室を含む)、自然文化園の森(自然観察学習館を含む)の活用及び維持管理 ・自然文化園及び日本庭園において実施したイベントや自主事業による投資	<b>運営実績【実績】</b> ・万博記念公園一体型コンテンツの実施 ・太陽の塔、パビリオン、自然観察学習館、日本庭園など、其々の特色を活かした体験型コンテンツを開発。「ワークショップEXPO2022」を開催 7/16(土)~9/4(日) 夏休みに園内施設で実施するワークショップを「ワークショップEXPO」と総称し、自然観察学習館ではSDGsワークショップ、EXPO'70パビリオンでは従来の「ペーパークラフトワークショップ」に加え、セルフ式のワークショップ(SDGs要素も加える)開発し、実施した。 <b>■EXPO'70パビリオン</b> ・企画展の実施 2022/3/12日(土)~5/8(日)企画展『やってみた展』を実施。 体験型を中心として比較的若年層が楽しめる企画として新たな企画展の形を作り出すことができ、今後の企画展の内容にも幅ができてよりEXPO'70パビリオンへも興味を持って頂けるようになったのではないかと感じた。 8/26(金)~2/26(日)企画展「大阪万博と万博記念公園の歩み」を実施。 ・ペーパークラフトワークショップの実施 8/12(金)とシンボルゾーンのペーパークラフト製作キットを開発、それを実用したワークショップを実施します。 70年万博を知らない世代にも万博レガシーを継承し、未来へ繋げていきます。 太陽の塔:電子チケット87枚 当日現金チケット73枚 合計160枚 エコバック:電子チケット8枚 当日現金チケット8枚 合計16枚 合計 電子チケット95枚 当日現金チケット81枚 総合計176枚 ※12月実績は後日記載3. EXPO'70パビリオンオリジナルグッズ販売 ・EXPO'70パビリオンオリジナルグッズ販売 記念品として、「メダルタイバー」を4/29から販売開始。 大阪府で知的財産を所有している太陽の塔ロゴマーク2種と桜マークのデザインとした。 約1231枚を販売。 既存のグッズの年間を通じて販売 ・EXPO'70パビリオンツアーの企画 既存のレガシーツアーに専念する。 <b>■太陽の塔</b> 1. 予約セット券の販売・・・日本庭園ライトアップWebチケットを販売(1,447人)日本庭園夜間来園の3割強のお客様が利用。 11/26(土)万博花火がアートになる日専用入園券を販売(コンビニ発券チケット)2万8千人中、約2万人のお客様が購入、混雑緩和に大きな効果を発揮した。 2. フォトスポットサービスの提供 太陽の塔内で撮影いただけるようスマホケースレンタルを企画・協議中。 3. 太陽の塔にちなんだ企画展の実施 2022年度は新型コロナウイルスの影響によって実施は見送りとした。 <b>■日本庭園</b> ①日本庭園の魅力化 ②日本庭園の魅力を最大限引き出すコンテンツ創造 桜まつり期間の土日祝で「汎庵」にて呈茶企画、「万里庵」の特別公開を実施した。(4/23、4/9、10) 8月イルミネイト万博&アジアン屋台with万博ビアガーデン2022 SUMMER 8/11(木・祝)~21(日)のうち10日間、蓮庵周辺をライトアップ。 21:00までの延長営業を実施した。 11月「紅葉まつり」期間、11/3(木祝)~11/23(水祝)の土日祝、合計8日間で日本庭園ライトアップを実施。 心字池~松の州浜~竹林の小経~深山の泉~木漏れ日の滝~汎庵にかけてライトアップ。 21:00までの延長営業を行った。夜間営業実施中は茶室汎庵での呈茶も実施。 行燈の灯りの中で薄茶と和菓子をいただくという趣のあるひと時を提供。(和菓子セット 700円)	A	履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○EXPO'70パビリオンにおいては、体験型を中心とした新たな企画展の開発、ワークショップの開催などを実施し、レガシーを活用した取組を行い、大阪万博の記憶の承継に努めた。今後も集客に向けた取組を期待する。 ○日本庭園の魅力創出について、新たにイルミネイト万博の期間中ライトアップを実施したことは評価できるが、投資による観光拠点形成について早急に実施し計画のリカバリーを図られたい。 ○概ね安全に運営管理を行った。Red Bull Box Cart Raceや花火大会など集客力のあるイベントを自主事業として新たに実施されるなど、にぎわいの創出・来園機会の拡大に努められた。 ○自然観察学習館の運営については、引き続きSDGs(自然学習)の拠点として適正に運営された。 ○大規模な自主事業イベントの開催やバリエーションに富んだ新規持込イベントの誘致を行い、にぎわいの創出・来園者層の拡大に寄与している。引き続き、閑散期対策を含め、来園者増に向けた取組の充実を図られたい。 ○花火大会実施に係る安全確保に当たっては、事前の計画策定・警察署等関係機関との調整はもとより、イベント当日の状況等を踏まえた関係機関からの指導等に適切に対応することができる運営体制を構築すること。また、当該指導等があった場合は、指導内容及び対応状況について、所定の書式により速やかに事務所へ報告すること。	A	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言
No.4(2) (3) 公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4) 施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (6) 安全・安心・快適な利用の確保	(※2) 自然文化園・日本庭園の活用、博覧会の遺産(レガシー)の活用及び自然環境を活かした取組みは適切に実施されたか。 ・太陽の塔、EXPO'70パビリオン、日本庭園(茶室を含む)、自然文化園の森(自然観察学習館を含む)の活用及び維持管理 ・自然文化園及び日本庭園において実施したイベントや自主事業による投資	<p>■自然観察学習館(moricara)</p> <p>●より多くのお客層層に触れていただけるよう、小中学生から高校・大学生、大人でも楽しめるアクティビティを拡充。学びだけではない、多面的なファン育成・お客様との繋がりがづくりを目指し、子どもから大人まで楽しめる様々な企画やワークショップを実施します。</p> <p>通期で定例の観察会を実施。            4月学校支援等を実施            5月 2(月)、3(火)にお茶摘み体験を実施した。            6月梅の実の販売を実施した。親子参加や大人でも楽しめる新たなアクティビティとして「万博の森のコケリウム作り」を実施した。            7月カブトムシフェア等を実施した。親子参加や大人でも楽しめる新たなアクティビティとして「ワークショップEXPO」を実施した。            8月ザリガニ釣り等を「ワークショップEXPO」と総称し実施した。吉本芸人によるザリガニ釣りや昆虫観察を実施した。            10月 17(月)兵庫県園芸・公園協会ご利用(実習室)、26(水)シニア大学校ご利用(森の教室)、29(土)アンフィニッシュドクラフトご利用(森の教室)など。            11月従来の工作教室等に加え、3(木)にネイチャーフェス(自然大学校主催・BMP共催)参加者8,000人(主催者報告)5(土)に秋の星座観望会、20(日)にグリーンズワッグづくりを実施した。</p> <p>■森の足湯            今年度全て休業</p> <p>【自己評価】            万博記念公園一体型コンテンツを目指し、夏休みに園内施設で実施するワークショップを「ワークショップEXPO」と総称し、自然観察学習館ではSDGsワークショップ、EXPO'70パビリオンでは従来の「ペーパークラフトワークショップ」に加え、セルフ式のワークショップ(SDGs要素も加える)開発し、実施した。            EXPO'70パビリオンでは2022/3/12日(土)～5/8(日)企画展『やってみよう展』を実施。体験型を中心として比較的若年層が楽しめる企画として新たな企画展の形を作り出すことができた。            8/26(金)～2/26(日)企画展「大阪万博と万博記念公園の歩み」を実施。EXPO'70パビリオンオリジナル記念品として、「メダルタイバー」を4/29から販売開始。前年度販売を開始した「メダラーフ」と共に好評を博している。太陽の塔では、塔内で撮影いただけるようスマホケースレンタルを企画・協議し2023年2月～3月にサービス開始を予定している。(2023年1月現在)日本庭園の魅力を最大限引き出すコンテンツとしては、8月イルミネイト万博&amp;アジアン屋台with万博ビアガーデン2022 SUMMER 8/11(木・祝)～21(日の期間中、蓮庵周辺をライトアップ。11月「紅葉まつり」期間、11/3(木祝)～11/23(水祝)の土日祝で日本庭園ライトアップを実施。また、12月に初実施のドラクエウォークでは日本庭園にポイントを設置することで日本庭園への来園を大きく促進した。2022年度はコロナ影響が残るなか感染予防対策を講じながら反転攻勢準備期としてできる限り積極的に集客コンテンツ開発に注力した。2023年から2025年に向かってはアフターコロナ反転攻勢機として大阪・関西万博機運醸成に努め本来の目標である年間目標に積極的に取り組みたい。</p> <p>維持管理            【実績】            ○各施設共通            管理マニュアルの規定に沿って昇降機設備、消防設備、空調設備、機械設備などの点検を行った。(各種法定点検を含む)            ○太陽の塔            夏期の高温対策のため、扇風機を各フロアに設置し空気を循環させ快適性を向上した。            内装や展示物の破損等につき、小修理で対応した。            イベント開催に際しては、照明(ライトアップ)、時間調整等を行った。            ○日本庭園            日本庭園(千里庵・汎庵)木製柵更新、給湯器更新、中屋根補修、日本庭園 Aポンプ場井水配管の部分更新、3号棟漏水補修、汚水インバート柵補修、各所の破損箇所の修繕を行った。            イベント開催に際しては、茶室清掃、換気等を行った。            ○EXPO'70パビリオン            浸水修理、ホワイエ照明器具取替、屋内雨どいの亀裂箇所へ雨漏り対策としてシール打ちを行った。            内装や展示物の破損等につき、小修理で対応した。            ○自然文化園            園内各所の破損箇所、危険箇所の修繕を行った。各所ベンチ補修、側溝の木の根、汚泥の除去、光ケーブルの断線補修、太陽の塔の目の補修等、運営に大きく悪影響を及ぼす不具合に対しても迅速に対応した。イベントに際しては、園路照明(外灯)点灯時間の延長、各イベント開催時の設営および現状復旧に関する指導、助言(電気、給排水など)を行った。</p> <p>【自己評価】            上記をとおして、2022年度も新型コロナウイルス感染拡大による利用料収入減に伴う仕様及び管理水準の見直しにより、公園を維持管理していくうえで最低限の各施設・設備の機能維持、危険箇所の排除を行った。            イベントに際しては、主催者との情報共有を密にし、問題なく使用会場が現状復帰できるよう、各イベントが安全・安心・快適なものとなるよう支援した。            また、イベント設営時の仮設電源工事や給排水工事等に際しては、原則として立ち合いのうえ指導・助言を行い、事故防止、危険防止に留意した。</p>	A	(前ページにまとめて記載)	A	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言
<p>No.4(3)</p> <p>(3) 公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策</p> <p>(4) 施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策</p> <p>(5) 安全・安心・快適な利用の確保</p>	<p>(※2) 自然文化園・日本庭園の利活用、博覧会の遺産(レガシー)の利活用及び自然環境を活かした取組みは適切に実施されたか。</p> <p>・太陽の塔、EXPO'70パビリオン、日本庭園(茶室を含む)、自然文化園の森(自然観察学習館を含む)の利活用及び維持管理</p> <p>・自然文化園及び日本庭園において実施したイベントや自主事業による投資</p>	<p>【実績】</p> <p>■イベント計画</p> <p>■指定管理業務イベントについて</p> <p>・カワセミ写真展 日本庭園中央休憩所 3/17(木)~4/17(日)</p> <p>1.桜まつり 東大路を中心とする園内各所 3/19(土)~4/10(日)</p> <p>2.春の山野草展 日本庭園園芸植物展示場 4/3(日)~10(日)、秋の山野草展 同 10/2(日)~10(月祝)</p> <p>3.チューリップフェスタ チューリップの花園 4/2(土)~17(日)</p> <p>4.ポピーフェア 花の丘 4/2(土)~5/8(日)</p> <p>5.日本の春咲えびね展 日本庭園園芸植物展示場 4/29(金祝)~5/3(火祝)</p> <p>6.ローズフェスタ 平和のバラ園 5/7(土)~6/5(日)</p> <p>7.あじさい祭 あじさいの森 6/4(土)~26(日)</p> <p>8.早朝観蓮会 日本庭園はす池 7/1(金)・2(土)・3(日)、8(金)・9(土)・10(日)</p> <p>9.ひまわりフェスタ チューリップの花園 7/16(土)~8/7(日)</p> <p>10.インターナショナルキャンプ 8/2(火)・8/3(水)</p> <p>11.イルミナイト万博2022 SUMMER&amp;アジア屋台with万博ビアガーデン 8/11(木祝)~21(日)</p> <p>※9月指定管理イベント実施なし</p> <p>12.コスモス・コキアフェスタ 花の丘 10/1(土)~31(日)</p> <p>13.秋のローズフェスタ 平和のバラ園 10/15(土)~11/6(日)</p> <p>14.紅葉まつり 園内 11/3(木祝)~12/4(日)予定</p> <p>15.万博記念公園に咲く花の写真コンテスト 募集:10/20~11/23→選考:12月予定→展示:12月~3月予定</p> <p>16.イルミナイト万博 12/2(金)~12/30(金)</p> <p>17.万博クロスカントリー 競技場~自然文化園全域 12/25(日)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で中止した指定管理イベント</p> <p>蛍のタベ 日本庭園 5月下旬~6月上旬予定(中止)</p> <p>○指定管理自主事業イベント</p> <p>イルミナイト万博 日本庭園イルミネーションエリア 8/11(木祝)~21(日)</p> <p>紅葉まつり「日本庭園ライトアップ」 11/3(木祝)~11/23(水祝)までの土日祝8日間</p> <p>・Red Bull Box Cart Race 2022 (10/22)</p> <p>万博夜空がアートになる日(11/26)</p> <p>○主な持ち込みイベント</p> <p>・花見と食と祭り(3/25~4/3)・全国大陶器市(3/26~4/10)・ABCホビー(4/3)・ガレージセール(4/10)・リサイクルフェア(4/17)・タカラッシュ(4/22)</p> <p>・東部トップツアーズ(4/22)・ロハスフェスタ2022春(4/22~24、4/29~5/1、5/3~5)・Sunny Face(4/23、24)・WaraiMiraiFes(4/29~5/1)</p> <p>・ロハスフェスタ2022春(4/22~24、4/29~5/1、5/3~5)・Drive in Theater OSAKA (5/3)・ガレージセール (5/5)・こいのぼり(5/5)・カレーEXPO (5/7,8,14,15)</p> <p>・プラスエキスポ(5/8)・宝探し(5/10)・リサイクルフェア(5/15)・ミタカウエディング(5/15)・JSSC 定期走航海(5/15)・クリオインターナショナル(5/21)</p> <p>・ウルフルズ(5/21)・OUTDOOR PARK(5/21,22)・てくてくウォーキング(5/22)・SAKANA JAPAN FES(5/27-29)・MEET THE WORLD BEAT(5/28)</p> <p>・電機連合ファミリーフェスティバル(5/29)・WFP ウォークザワールド(5/29)・淀川くわんか お船の運動会(5/29)</p> <p>・摂津第一中学校レクリエーション(6/2)・堺市立金岡南中学校レクリエーション(6/3)・堺市立平井中学校レクリエーション(6/3)・天王こども園レクリエーション(6/4)</p> <p>・ストライダーカップ(6/4~6/5)・盆栽ふれあいDAY(6/10)・ガレージセール(6/12)・Health Smile Fun Festival(6/19)・兵庫県立洲本高校レクリエーション(6/20)</p> <p>・MOTOR CAMP EXPO(7/2,3)・JSSC定期走航海(7/17)・晴れ女EXPO(7/30,31)・アジア友好交流フェスティバル(8/27,28)</p> <p>・すいたフェスタ(9/4)・こどもミュージアム(9/11)・ガレージセール(9/18)・JSSC 定期走航海(9/18)・おは朝パーク(9/23~25)・あてパン(9/23~25)</p> <p>・住友生命ウォーキング(9/25AM)・出版健康保険組合運動会(9/25)</p> <p>・トラックフェスタ(10/1)・痛車天国(10/9)・大阪弁護士会 運動会(10/9)・Jリーグウォーキング(10/9)・タカラッシュ(10/15)</p> <p>・ワクワクいきものワールド(10/15、16)・ガレージセール(10/16)・タスクフォース 運動会(10/16)・ダイヘン 運動会(10/22)・吹田市商工会(10/22)</p> <p>・キッチンカーカーニバル(10/29、30)・ロハスフェスタ秋(11/3~6、11/11~13)・FUNKY MARKET(11/6)・ABCラジオまつり(11/13)</p> <p>・チーズEXPO(11/18~20、23)・よみうりコードモ万博(11/19、20)・リサイクルフェア(11/20)・ガレージセール(11/27)</p> <p>・吹田市トライアスロン試泳(11/21)・インフィオラータ(11/24~27)・JSSC定期走航海(11/27)</p> <p>・ラーメンEXPO(12/2~4、12/9~11、12/16~12/18、12/23~12/25、12/29,12/30)・ドラクエウォーク(12/3、12/4)・関西地区ランナー記録会(12/3)</p> <p>・茨木三島中体連駅伝競争(12/10)・吹田カメの子駅伝大会(12/11)・お船の運動会(12/11)・大阪学院大学高校マラソン実習(12/16)・コカ・コーラ除幕式(12/19)</p> <p>○大阪府イベント</p> <p>・大阪来てな × Chillin' Vibes -Extra- (10/9)</p> <p>・SDフェスタ(10/15)</p> <p>・大阪文化芸術創出プログラム2022 EXPO PARK ART &amp; MUSIC WEEKEND (10/29,30)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により6件以上のイベントが中止となった(2022年12月末時点)</p> <p>○その他</p> <p>※イベントの開催制限に則り危機管理室と連携してイベント実施の安全を図った。</p> <p>■その他</p> <p>・行為許可書、実施計画書及び運営マニュアル等を元に各主催者との協議・打ち合わせを行い、その後BMP内各セクションと連携会議を実施。</p> <p>・毎月第1月曜日13時からの情報共有会議、月初と隔週のイベント対策会議にて課題の洗い出しを行い、隔週金曜日の実務者会議にて情報共有。</p> <p>・BMP管轄の園内外警備計画、各ゲート運営計画、清掃計画等を随時策定している。(当日の現場立会いも踏まえ、安全且つ円滑な運営を行っている)</p> <p>【自己評価】</p> <p>2022年度も引き続きコロナ感染拡大防止のため、イベントでの人数制限や感染対策などの影響を受けながらも、大型イベントを含めて新規イベントの誘致を積極的に行うとともに既存のイベントについても事故なく実施することができ、公園のにぎわいづくりに貢献した。</p> <p>自主事業「万博花火がアートになる日」においては、事前に大阪府警、吹田警察署をはじめとした関係各所と協議を重ね、安全対策を行ったことで、事故やけが人等は発生することなく終了したが、不測の事態がいくつか発生したため、次年度以降は今年度の反省点を踏まえ、さらなる安全対策の強化に努めて実施したい。</p>	A	(前ページにまとめて記載)	A	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価	大阪府の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			(S~C)		(S~C)		
No.5	(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策  (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策  (5)安全・安心・快適な利用の確保	(※3)運動施設の利活用等の取組みは適切に実施されたか	<p>【実績】</p> <p>●万博記念競技場の運営</p> <p>【施設の利活用(利用促進)のための取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区テニス予約システムについて、4月1日より正式運用開始。</li> <li>・小運動場の料金改定について大阪府と協議、来年度より改定料金(学生料金)を実施予定となり、利用者への利便性向上・利用促進へと繋げた</li> <li>・万博クロスカントリー大会実施。</li> </ul> <p>【自主事業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南地区(スポーツ広場)において『星野伸之の野球アカデミー』2022年4/6(水)~9/28(水)の16:45~18:15で実施→合計:24回実施</li> <li>・西地区各種スクール事業の実施</li> <li>・トーナメントやイベントの実施</li> <li>・元プロサッカー選手によるスクールの実施中</li> <li>・知的障がい者のある方のテニス教室を実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区 テニス無料体験レッスン(5/27)において、担当コーチから利用者への発言をめぐってクレーム発生(5/28)。7/16(土)・8/9(火)に訪問し謝罪を行う。現在引き続き対応中。今後、再度担当コーチへの当時のヒアリングを行い適正に対処する。</li> </ul> <p>●運動施設の運営維持管理について適切に実施した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>新型コロナウイルスのガイドラインに沿ったご案内を徹底し、感染拡大予防に努めた。利用促進として積極的にガイドラインに沿ったスクール事業やイベントなどを実施し、利用者大会利用の早期対応など柔軟な対応やメンテナンスを行い、顧客満足度の向上を行った。府と協議のうえ、利用者との調整の上競技場の水曜日開場を行い利用者利便性向上を促進した。平日の利用普及について、南地区にて野球スクールを実施した。競技場の天然芝の改修工事について大阪府へ情報提供を行った。</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○テニス予約システムの導入や小運動場の学生料金設定など、運動施設の利用促進・サービス向上に取り組んでいる。</p> <p>○西地区テニス無料体験レッスン中に発生した事象について、原因分析を行った上で再発防止策の徹底を図るとともに、引き続き丁寧に対応されたい。</p>	A	
		(4)園内移動手段の確保は適切に実施されたか	<p>【実績】</p> <p>1、森のトレインの継続運行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4・5・6・10・11月の水曜を除く毎日(水曜が祝日の場合は運行)及び、9・3月の土曜日・日曜日・祝日(休園日除く)</li> <li>・運行前日 降雨確率70% 以上の場合は運休</li> <li>・利用料金350円/回(3歳以上) 1日フリーパス/1,000円(3歳以上)</li> <li>→稼働日数(累計):140日(4月~12月)</li> <li>→利用人数(累計):26,819人(4月~12月)</li> </ul> <p>2、パークタクシー運営開始に向けた各種調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→稼働日数(累計):48日(4月~12月)</li> <li>→利用人数(累計):1,555人(4月~12月)</li> </ul> <p>【自己評価】</p> <p>公園内モビリティへの需要は高く、引き続き通常の運行に加え、パークタクシーの運用と合わせてお客様の利便性向上に向け取り組みを続けたい。2021年度に引き続き実施した日本庭園の紅葉のライトアップに連動した、中央ゲートからのパークタクシーの運行については非常に好評であり、ゴールデンルートの重要性を再認識するとともに、ライトアップ来園者の利便性の向上に寄与することができた。</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○森のトレイン及びパークタクシーについて、適切に運営されている。昨年度から検討されている個人移動支援の乗物の導入など、利用者の更なる利便性向上につながる移動手段の充実に期待する。</p>	A	



評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言
<p>No.7</p> <p>(3) 公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策</p> <p>(4) 施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策</p> <p>(5) 安全・安心・快適な利用の確保</p>	<p>(※4) 快適性・サービス向上に関する取組みは適切に実施されたか</p>	<p>■売店等の運営状況</p> <p>【実績】</p> <p>1. 日本庭園の施設魅力化          ・中央休憩所の庭園景観を存分に感じて頂けるJapanカフェへの改装          ⇒新型コロナウイルスの影響で出店希望者が募れていない状況にある。</p> <p>2. 売店・イベント広場の利活用          ・万博記念公園と園内施設の魅力をより高められる商品の開発          ⇒5月9日より自然文化園・日本庭園共通入園券と万博BEASTがセットになった「万博お得チケット」を発売。          チケット提示による割引等サービス実施: neu cafe、ジェラフル、万博BEAST実施。          ・万博記念公園公式LINEでイベント情報とお得なクーポンを配信。          (夢の池サイクルポート: 10分延長無料、おもしろ自転車広場: 10分延長無料) (シアトルズベストコーヒー: 全ドリンクサイズアップ無料)          (ノースガーデン: 生ハムとしらす &amp; 大葉のダブルトッピング無料) (吉たこ: 通常6個入りのところ8個入りに増量) など          ・グッズショップ &amp; 太陽の塔ミュージアムショップにて新商品展開。          岡本太郎(こどもの樹モチーフ)ボールチェーン付マスコット(3種類: 各¥1,870-)          太陽の塔マスコット(ボールチェーン付)サイズ10.5×8.5(¥1,980-)          拒否する椅子マスコット(ボールチェーン付)(¥2,530-)          EXPO70Tシャツ(リニューアルvr.)サイズS・M・L・XL(各¥4,400-)          【TAROカラージュ新デザイン】          Tシャツ カラージュ(S M L XL: 各¥8,500 税込)クリアケース カラージュTARO A4(¥360 税込) A5ノート カラージュ(赤/白: 660 税込)          ステッカー カラージュ(¥660 税込)</p> <p>3. その他 売店等          前述の売店・食堂以外については、店舗リニューアル計画 を参照          ⇒桜まつり期間に下記店舗で営業時間延長を実施          NORTH GARDEN/neu.cafe/EXPO GOODS STORE/シアトルズベストコーヒー/自転車センター          ・フラワーショップ(中央G西側)区画が2021年3月末で閉店していたが、(旧ヴァレージバンガード)2022年4月10日に「吉たこ 万博記念公園店」がグランドオープン。          ⇒この世界観が7月末で退店。          ⇒Living PARKIにおいて、仮設テントサイトエリアを新たに設定し、8月1日より利用開始。          ⇒旧オーリーブ区画において、株式会社やあまんと業務委託契約を締結。店舗名は「万博豚汁ビッグマン」。建物の水漏れが影響し、内装工事に遅れが生じている。          ・もみの池エリアでアクティビティ施設の新規事業を検討中。</p> <p>【自己評価】          新型コロナウイルスが再拡大する中、支援が何もないため売店の経営は非常に厳しい状況であったが、1年を通じてサービスを落とすことなく運営を何とか続けられた。また、新規出店する売店もあり、賑わい作りを行う事が出来た。継続して出店希望があれば適切に対応する。          しかし、今後も同様の状況が続く場合には大変困難な状況であり、閑散期などの営業などを見直す必要がある。テナントからは現在の状況では到底営業を継続する事が困難な状況にある。そのため、撤退となった場合には来園者サービスの低下となるため、継続した営業を担保するため、2月は平日の一部で休業を余儀なくされている。</p> <p>【実績】</p> <p>1) 万博エリア連絡会への参加          ⇒4月27日開催。GWを中心に各団体の予定等を共有、確認。</p> <p>2) 公園および駐車場の円滑な運営に向けた主な注力点</p> <p>●駐車場          ①春の繁忙期と秋の繁忙期、ガンバ大阪関連に伴う交通対策について          ・増員と、状況に応じた配置展開や延長対応          ・臨時P活用、臨時口活用(汎用レジ購入・配備)          ・路線バス経路の確保          ・事前精算促進、精算補助、場内外の警備誘導など、出庫支援の実施          ・釣銭の随時補充 など          ②ガンバ大阪×バリ・サンジェルマン戦対応を契機とした、吹田スタジアム催行日対応の見直しについて          ・ガンバ大阪に対し、三者協定に基づく対策の徹底を求めた          ・BMPが提供するサービス(駐車場の臨時対応等)と料金の見直しを求めた          ③駐車場関連の課題と対策、苦情対応について          ・利用者等から寄せられる苦情や要望に対して、都度関係者で共有のうえ、再発防止や改善に努めた(月次でヒヤリハットリストを作成など)          ④アリーナ開発に伴う駐車場環境整備について          ・大阪府と協議を実施、継続中(これまでに顕在化している課題や要望を提出・共有し、この機会を逃さず改善が図られるよう求めている)</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、概ね実施できているが、管理品質等に一部課題がある。</p> <p>○日本庭園の施設魅力化に係る中央休憩所の改装については、実施に向け着実に進められたい。</p> <p>○売店運営について、令和3年度評価においても指摘した「売店計画におけるリニューアル未実施の売店等のオープンに向けた調整」に関して、Japanカフェ等は未だリニューアル計画が進んでいない。加えて、有料区域内の売店においては開園時休業しているが、今後の展望が示されておらず、利用者サービスの低下に留まっている。については、速やかに売店等の運営状況を分析・検証し、改善に向けた今後の運営計画を示されたい。その上で、当該計画に沿って遅滞なく取り組まれたい。</p> <p>○駐車場運営や警備について、人員配置を適切に行い、引き続き、多客日の警備や駐車場混雑対応など、円滑な運営を実施されたい。</p>	B	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価	大阪府の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
No.8		<p>●警備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>増員と、状況に応じた配置転換や延長対応</li> <li>中央広場・中央橋・中央口の混雑対策(早朝からの規制設置や、コーン等の設置による導線設計、交通量に応じた経路幅の調整等)を実施</li> <li>夜間延長時の取り組み(閉園エリアからのゲストクリア、視界の良い、限られた公園口や経路における広報アナウンス等)</li> <li>屋外スピーカーの活用(自転車走行の禁止等、広報アナウンス)</li> <li>放置自転車への対応(注意や警告の札付け、吹田市との連携(指定区域の放置自転車撤去)など)</li> <li>研修の実施(業務状況の定期チェック、接客に関する指導、報連相の徹底等) など</li> </ul> <p>●清掃、廃棄物処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>増員と状況に応じた延長対応</li> <li>繁忙期の公園のアーリーオープン(本来の清掃業務時間が圧縮される)への協力</li> <li>イベント主催者のゴミ収集・集積方法のチェック、指導等</li> <li>日常巡視への対応</li> <li>トイレ工事や多客日予想によるフェスティバルスタンド下トイレの活用 など</li> </ul> <p>【自己評価】 Withコロナの情勢下で来園者が増加に転じ、コロナ禍以前の数にはまだ及ばないものの、繁忙対策に注力する年となった。 RedBullBoxCartRaceや花火企画など、新規かつ万博記念公園の存在感を高める企画が加わり、また吹田スタジアムでの開催イベントにもJリーグだけでなく、パリ・サンジェルマン戦やフランクフルト戦、藤井風LIVEなど、遠方からも多くの集客力があるイベントが目立った一方、気候変動の影響もあるのか、大型イベントがより特定の日に重なる傾向にあり、一時に複数の案件情報の周知および理解を図ることや、実際の駐車場や入退園導線の対策に窮した。加えて、暑さ寒さの時期を問わず、夜間延長対応の機会も増えつつあり、相応しいスキルを持つスタッフの臨時確保が難しい状況も垣間見られた。 そうした環境かつ、経費削減が継続される状況下において、大きな事故などなく、心身体調を管理し日々対応を積み重ねてきたスタッフを高く評価されたい。 (また、快適性やサービスの“向上”には応分の投資や対価を要するものであり、収益性の是正や改善を根本的な課題として、働きかけていくとともに、ご理解とご支援を賜りたい。) 今後は、特に駐車場の運営管理について、引き続きより一層の主体的対応と連携強化を課題として、改善を図っていく。</p>	A	(前ページにまとめて記載)	B	
	<p>トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。</p>	<p>【実績】</p> <p>1、苦情等受付簿・集計表 適切に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事件、事故等 累計:118件 (4月17件、5月11件、6月16件、7月16件、8月12件、9月14件、10月11件、11月17件、12月4件)</li> <li>・苦情、要望等 累計:76件 (4月18件、5月15件、6月4件、7月4件、8月3件、9月2件、10月14件、11月12件、12月4件)</li> <li>・受付、問合せ等 累計:1,837件 (4月389件、5月320件、6月125件、7月99件、8月128件、9月126件、10月259件、11月252件、12月139件)</li> <li>・利用指導 累計:1件 (4月0件、5月0件、6月0件、7月0件、8月0件、9月0件、10月0件、11月1件、12月0件)</li> </ul> <p>◎対応件数 総合計2,032件</p> <p>2、インフォメール 適切に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情・ご意見 累計:47件 (4月4件、5月12件、6月4件、7月3件、8月3件、9月2件、10月5件、11月6件)</li> <li>・その他問合せ 累計:112件 (4月15件、5月17件、6月14件、7月14件、8月13件、9月7件、10月13件、11月19件)</li> </ul> <p>3、コールセンター 適切に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情・ご意見 累計:63件 (4月37件、5月10件、6月4件、7月2件、8月1件、9月0件、10月5件、11月4件)</li> <li>・その他問合せ 累計:635件 (4月110件、5月93件、6月58件、7月92件、8月47件、9月55件、10月92件、11月88件)</li> </ul> <p>3、インフォメーションセンター ・各種お問い合わせ 4月～11月累計:苦情2件、その他問い合わせ等3,861件</p> <p>4、ゲート投書箱(2021年6月より設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ご要望 4月～11月累計:33件</li> <li>・苦情 4月～11月累計:31件</li> <li>・お褒め 4月～11月累計:6件</li> </ul> <p>【自己評価】 各施設スタッフ及び巡回警備にて、トラブルやご意見に対応し対応結果については各種様式に記載し本部に共有することを徹底し継続している。 また、コールセンターへの電話、インフォメールへのメールでのお問い合わせご要望についても関係者間共有の上、適切な部門にて対応をするよう情報の共有化と蓄積を進めている。 さらに各ゲートに無記名式の投書箱を設置し、潜在的なご要望を届けていただけるよう取り組んでいる。 加えて、園内関係施設(国立民族学博物館、大阪日本民芸館)とも連携を密にし、相互に寄せられた各種お申し出を共有し、相互解決の助けとしている。 SNSの広がりによって、太陽の塔の知財権に抵触したり、事前申請を経ない無断行為等の投稿が見受けられた場合にも、即座に管理者に連絡を取り修正・削除を進めている。 全般として、早期の問題解決が図れており、適切に対応が出来ている。</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○苦情等への対応は適切に実施できている。また、利用者からのご意見・ご要望等に耳を傾け、運営管理に反映できるよう努められている。</p> <p>○西地区テニス無料体験レッスン中に発生した事象について、引き続き丁寧に対応されたい。</p>	A	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言
<p>(3) 公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策</p> <p>(4) 施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策</p> <p>(5) 安全・安心・快適な利用の確保</p>	<p>草地管理、芝生地管理、樹木管理、草花管理、花木等管理等について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)</p>	<p>【実績】</p> <p>○草地管理実績 4～12月には各エリアを月に2回～3回ずつ草刈りや除草作業を行い、美観に配慮し良好な緑地環境を保った。1～3月も必要に応じて除草作業を行う予定。</p> <p>○芝生管理実績 ①エリアや使用頻度に応じて4～12月には、最大頻度で29回の芝刈を行い、芝生地の集草、薬剤散布、施肥、人力除草等を実施し快適に利用できる状態を保った。1～3月は、適切なエアレーションや目土掛け、除草、施肥、芝刈を行う予定。 ②大面積芝生広場を中心に、適切な薬剤や除草剤の散布を実施した。</p> <p>○樹木管理実績 園内、無料地区にて、夏期剪定、枝抜き剪定、支障木撤去を行った。桜では枯れ枝撤去などを行った。 徒歩による日常巡回及び大阪府との共同巡回を合計18回実施した。</p> <p>○花壇管理実績 1、バラ園花壇管理（リニューアルしたバラ園を生まれ変わった花の名所とする） ・バラのタイプ(大輪・中輪・小輪・ツルバラ等)に則した適切な選定作業をし、見頃の時期に一斉に咲くバラ園を演出した。 ・5月、10月のバラの見頃の季節にはローズフェスタを行い、臨時売店でのバラ、草花の販売、ガイド等によりバラ園を楽しんでいただける取組みを行った。 ・病害虫防除、液肥散布、除草工、結束替えスタンダード、誘引工(ツルバラ)、芝刈り、、池清掃、施肥工(藤棚)、誘引工(藤棚)、宿根草刈取り、灌水工、緑地補修工(枯れ枝剪定・ケヤキ)を行った。 2、チューリップの花園（チューリップフェスタでの魅力アップ） ・チューリップフェスタ開催に伴い、フォトスポット、希少種コーナー、大阪大学共生学学生と植え付けたコーナー、コミュニティガーデナー講座受講生によるコミュニティガーデンコーナーを設置した。 ・ひまわりフェスタ開催に向けて、山田高校の生徒さんと一緒にひまわりの植え付けを実施した。 花壇内で滞留できるよう木陰にテーブル設置、イベントに伴うキッチンカーの出店の際に日陰を作るためのテントの設置を実施した。 3、花の丘（来園者の方々にSNSで発信してもらえるような写真映えするフォトジェニックな場所に） ・ホビーフェア開催に伴い、フォトスポットの設置、除草、ピンチを実施した。 ・秋に向けて、ミュレンベルギアを補植、新たな見どころ作りとして、コキア約4,000株の植え付け、またそれに伴う除草、耕起、灌水を実施した。また、花の丘改修工事後より園路へ流出する土砂の撤去を実施した。 4、その他花壇 ・真夏の見どころ作りのため、世界の森でキバナコスモスの播種、また夏の花八景でひまわりの播種を行った。 ・万葉の里、冬季花壇、夏の花八景での除草・刈込、各花壇の除草、ピンチ、灌水、施肥を行った。 また大型イベント実施に向けて場周道のウバメガシ・雑木の刈込・撤去を実施した。</p> <p>○花木管理実績 1.あじさいの森 ・除草、冬季枝整理を行った。園路チップ敷き均しを行い移植と新品種を植栽した。あじさい祭り用にアジサイの鉢植えを2鉢設置し、人止め用のロープと杭を一部交換した。 2.梅林 ・深耕、補植を行った。収穫、緑地補修(梅の実養生の為のロープ柵設置)を行った。 3.つばきの森 ・補植を行った。高木剪定、摘果を行った。 4.茶畑 ・施肥、除草を行った。刈込、除草、灌水を行った。 5.桜 ・枝剪定を行った。 6.フタ等施行実施予定項目について ・除草、耕うん(堆肥すきこみ)作業を行った。播種、ネット設置作業を行った。収穫を行った。 ○病害虫防除 ・日本庭園のマツ、モチ、ゲッケイジュにマツグリーン(殺虫剤)を散布した。園内のツタ、プリベット等にマツグリーン(殺虫剤)を散布した。 マツに粘着くん(殺虫剤)を散布した。ハス池ハスにトレボン(殺虫剤)を散布した。ウメにスミチオン(殺虫剤)を散布した。クロマツ、シラン、シャリンバイにジマンダイセン(殺菌剤)を散布した。クロマツにバイオピリオン(活力剤)を散布した。サクラにトレボン(殺虫剤)を散布した。 日本庭園のモチ、ゲッケイジュ等カイガラムシを手で除去した。セアコケグモの駆除を行った。コガタズメバチの巣を駆除した。巡回、通常巡視を全域で行った。</p> <p>○シーズンに応じた植物管理 1.植物セミナー・ワークショップ ・京都川端商店バラの香り染めワークショップ・レイメイキング ワークショップ・バラのポプリボトル作りワークショップ・春を楽しむリアルボタニカルアクセサリ作りワークショップ・ローズマイスター青木亨治によるバラ園ガイドツアー 2.植栽管理イベント・花育活動 ・咲き終わったチューリップの球根の掘り取りイベントを実施。子どもから高齢の方まで、1日の実施で441名が参加した。 普段花壇手入れに携わるボランティアの指導の下、掘り取りを体験、来年も各家庭で咲かせてもらえるよう、夏越の説明書と共に掘り取った球根は持ち帰りで開催した。 ・バラ園を散策しながらのローズガイド、バラの花びらで染めるバラ染め、バラの花びらをすくう子ども向けの「お花すくい」やバラ園クイズラリーなど、バラに触れながらバラの知識を深めてもらうセミナー・ワークショップを実施した。 気軽に植物に触れ合い学べる機会の創出を目的としたセミナーやワークショップを開催 開催時期：ローズフェスタ(5月・10月)開催回数：4回 内容：バラの栽培管理について、その他ワークショップ等 ・山田高校の探求学習の一環で、万博記念公園のSDGsの取り組みについて、山田高校で講義、別日で万博記念公園内で現場研修を実施した。 残材ヤード見学など、森の循環のレクチャーし、堆肥の混ぜ込みから、ひまわりのプラグ苗植え付けまでを学生40人に体験してもらう授業を実施した。 ・秋花壇の咲き終わったマリーゴールドの花びらから染料を取り、専門学生が染色して作品を制作する。 上田女子服飾専門学校と京都川端商店との協働企画について今年も実施に向け打合せを実施した。 ・花苗や球根の種苗会社やNPO団体、ボランティアと協働で、万博記念公園の植物サイクルを学びながら、球根の受付または掘り取りまでを体験してもらうイベントを行い、近隣の学校施設などへの花育活動として万博記念公園内での地域交流の機会を創出した。</p> <p>○生物多様性向上 ①農薬の使用は巡回をして害虫、病気の確認をして最小限の範囲で散布した。 ②万博エコ堆肥を積極的に取り入れている。 ③園内動植物について、外来種などは専門機関と連携し適切に駆除した。(ミシシッピーアカミミガメ等) ④昆虫や植物の育成のため、草刈の範囲や時期の調整を自然観察学習館と協議して行った。 ⑤ザリガニの駆除作業は適切な時期に捕獲し処分している。水生生物の適切な飼育管理に努める。</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○2020年度に発生した倒木事故に伴う万博の森の危険木等の伐採・剪定にかかる園路の立入規制については、府と調整を図りながら計画的に取組みを進め、2022年度末にはすべて規制解除される見込みである。今後も重大な事故を未然に防止できるよう引き続き、府と連携しながら適切に維持管理されたい。</p> <p>○新たな花の見どころを創出するなど、良好な景観を保持できている。引き続き、公園の魅力向上につながる取組みを期待する。</p>	A	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価	大阪府の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
		<p>【自己評価】            新型コロナウイルス感染拡大による利用料収入減に伴う仕様及び管理水準の見直し案を公園事務所と協議の上策定し、必要とされるレベルを模索したが、以前と比べレベルダウンとしないよう巡視要員を1名増員した。            草地について、実施計画に沿って4月から各エリア2～3回ずつ除草作業を行い、苦情、要望個所には迅速に対応し良好な環境を保った。芝生地管理について実施計画に沿った刈込みをエリア毎、使用頻度に応じて年2回～最大29回行い、施肥、集草、人力除草を行った。また適切な薬剤や除草剤の散布により雑草やメリケンソウの抑制を行った。今後は、エリア毎に使用頻度・内容に応じた管理を強化していく。花の見所、各花壇の草花管理について、実施計画に沿って植付・植替作業を適切に行い、希少種などを取入れ新たな花の見どころを創出、美しい花の常にある良好な景観を保てた。病虫害防除について実施計画に基づき適切に管理を行い、スズメバチ、セアカゴケグモ駆除の対応も迅速に取組んだ。樹木管理では園内、無料地区にて実施計画数量を超える作業を行い、苦情、要望にも適切に対応した。樹勢回復では、低木の台落とし、ケヤキの丘を中心に枯枝の剪定、桜では、枯枝剪定、癌腫の除去を行い、切口には切口保護剤を塗布するなどの処置を適切に行った。花木等管理について実施計画に沿って適切に管理を行った。花木林については、支障木、枯れ枝除去も丁寧に行い、花木林全体で良い景観となるよう取り組んだ。            日々の巡回に加え、大阪府との月2回の合同巡回を実施し、危険木、枯枝等の早期発見に努め迅速に伐採処理などに対応した。今後も引き続き大阪府と協議を行いながら、対応を重ねていく。また、今期から公園事務所とBMPで安全管理運営協議会を発足させ順次問題点の改善を進めている。            2021年6月21日より上津道、細園路の立入規制を行い、安全確認作業を実施。共同で安全が確認出来た所から開放し、2022年度末に全面開放となったように指定管理者と府が協力していき共同で安全確認を行った後に解放の予定。立入規制の実施に関しては、丁寧で分かり易い告知を心掛けたが、苦情は数件寄せられた。</p>	A	(前ページにまとめて記載)	A	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言
<p>No.10</p> <p>(3) 公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策</p> <p>(4) 施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策</p> <p>(5) 安全・安心・快適な利用の確保</p>	<p>点検・補修・修繕を適切に行ったか(法定点検、日常点検、修繕の実施について確認)</p>	<p>【実績】</p> <p>■点検</p> <p>○法定点検(以下の項目を実施した。)</p> <p>①受変電設備定期点検(自然文化園・東地区、中央、西地区)、一括変電所</p> <p>②昇降機定期点検(太陽の塔・EXPO'70パビリオン)</p> <p>③空気環境測定(迎賓館)</p> <p>④フロア簡易点検(空調設備)</p> <p>⑤消防設備点検(各防火対象物)</p> <p>⑥特定建築物の建築設備点検、消防設備点検(EXPO'70パビリオン、太陽の塔、記念競技場他)</p> <p>○定期点検(以下の項目を実施した。)</p> <p>①高圧絶縁監視装置定期点検</p> <p>②低圧分電盤絶縁抵抗測定</p> <p>③夜間照明設備等定期点検(記念競技場・テニスコート)</p> <p>④陸上競技用電子機器等定期点検(記念競技場)</p> <p>⑤自動ドア保守点検(太陽の塔・EXPO'70パビリオン)</p> <p>⑥遊具点検、ソラード定期点検※精密点検を含む 精密点検(わくわく池、ぼうけん海 1月実施、やったねの木 1月実施予定、ソラード、無料地区 1月実施予定)</p> <p>⑦駐車場監視装置、駐車場情報提供システム、デジタルサイネージ、監視カメラ、入場券システムほか園内システム</p> <p>⑧園内照明灯他定期点検</p> <p>○日常点検(以下の項目を実施した。)</p> <p>①受変電設備日常点検(低圧分電盤、太陽光発電合設備他)</p> <p>②園内設備日常点検(照明設備、機械設備、空調設備、遊具類他)</p> <p>■修繕</p> <p>○修繕 計91件の修繕を実施した。(12月末時点) 代表的なものは下記のとおり。</p> <p>①日本庭園⇒ゲートの門、扉の腐食の補修</p> <p>②建築物補修⇒庭園前ゲートトップライトガラス補修、ゲートの門、扉の腐食の補修、競技場1階店舗雨漏れ、ガラス壁補修補強、学習館引き込みルート整備</p> <p>③園路補修⇒(中津道、中央橋、梅林附近、西大路、東大路、中央広場、日本庭園内園路他)</p> <p>④漏水補修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区スポーツ広場付近漏水修繕</li> <li>・太陽の塔、バラ園バルブ交換</li> <li>・競技場1階店舗漏水補修</li> <li>・テニスコート、花の丘、東の広場漏水修繕</li> </ul> <p>⑤運動施設周辺各種補修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東地区 競技場時計修繕、スニーカー修繕、スプリンクラー修繕、スタータービストル修繕</li> <li>・南地区 OFA横トイレ壁補修、スポーツ広場バックネット補修、野球場電磁弁交換、野球場時計修繕</li> <li>・西地区 人工芝めくれ補修、排水つまり補修</li> <li>・ハードレイキ整備等の運動施設整備機械のメンテナンス</li> </ul> <p>⑥井戸設備、ポンプ設備関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2工区井戸放水弁交換、3工区井戸ポンプ更新、日本庭園Aポンプ場井戸ポンプ更新</li> </ul> <p>⑦遊具補修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわく池のぼうけん広場遊具ネット撤去</li> <li>・わくわく池のぼうけん広場ゴムチップ補修</li> </ul> <p>⑧園内サイン・看板類補修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカンフットボール場の名称変更に伴う看板の名称変更</li> </ul> <p>⑨夢の池に繁殖する藻の撤去</p> <p>■補修・修繕</p> <p>1、修繕計画に基づき各種修繕工事を行い機能保全する。</p> <p>2、実施工程表に基づき適切な周期で点検を実施。</p> <p>【自己評価】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大による利用料収入減がまだ残る状況でも管理水準の一定の水準を保つべく、特に公園の維持管理については府と協議のうえ、最大限実施した。法定点検、定期点検、日常点検は実施計画に基づき確実に実施し、園内施設、設備類を正常な状態に保ち、来園者が安心・安全に利用できるよう適正な管理を行った。また、点検や巡視報告、各施設からの報告で明らかになった不具合等については、可能なものは小修理にて対応、専門業者による対応が必要で緊急性、重要性の高い項目は、業者に委託して補修・修繕を行い、早期の復旧に努めた。2022年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、修繕費については予算が限られたので、緊急性、重要性の観点から各案件毎の精査を慎重に行い、業者への委託は、必要不可欠な案件に絞り込んだ。但し、特に緊急性、重要性の高い案件については、府と協議の上、補修・修繕計画書記載項目に優先して実施した。特に漏水、雨漏れ、浸水、崩れと空調機器に関して重点的に修繕を実施し利用者、職員の安全と労働環境の維持に留意した。不具合情報は、速報メール、不具合報告書等によりBMP内で共有し、来園者への対応に遺漏が生じないよう留意した。また、速報メール、不具合報告書等は、必要に応じ大阪府とも共有、指示を仰いで適切に対応した。施設、設備(遊具類を含む)の不具合は「不具合管理台帳」に記載し、対応の経過を確認できるようにし、対応の漏れ、遅れを防止するようにした。</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、概ね実施できているが、管理品質等に一部課題がある。</p> <p>○履行確認等において繰り返し指導しているが、補修・修繕については緊急性の高いものに留まっており、募集要項等で定められた額(41,584千円)に達していない。来園者が安全・安心に利用できるよう必要な補修・修繕を執行されたい。</p>	B	

No.	評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価	大阪府の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
				(S~C)		(S~C)	
No.11		園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実施計画に基づき、園内・運動施設地区・駐車場・トイレ等、各所の清掃を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①園内清掃、運動施設地区清掃 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に冠水の原因となる側溝清掃への意識強化</li> <li>・夜間延長やイベント後の、原状回復への日常的協力対応</li> </ul> </li> <li>②イベント清掃 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催者自らで清掃対応されるとのイベントについても、回収・分別・集積などが適切に行われているかチェックし、必要に応じて指導等も実施。</li> <li>・持ち帰りを前提としていた主催者や出店者のゴミを急遽回収する場合にも、カラス等によるゴミの飛散がないよう工夫。(不燃はコンテナ外に整理するなどして急遽対応)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>●不法投棄:累計2件(2022年12月末日現在) <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/29、西地区ゴミ集積所にテレビの不法投棄を発見。8/10家電リサイクル処理。</li> <li>・8/10、日本庭園内にて、使い捨てライター類計63個の不法投棄を発見。ガス抜きのもの廃棄。</li> </ul> </li> </ul> <p>【自己評価】</p> <p>コロナ感染拡大防止はもちろん、日常巡視や、雨天時の転倒リスク、砂の流出や、景観や生態系維持に関わる落葉回収の程度など、純粋な清掃業務を超えた範囲まで配慮や関与を求め、対応に取り組んでおり、高く評価する。</p> <p>来園者の多寡に関わらず蓄積する汚れ、水回りの細部、除草や吸殻回収など、引き続き改善に努めていく。</p>	A	<p>履行確認の結果、実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○イベント実施事業者への指導や突発的事象への対応等、適切な園内清掃等に取り組まれた。</p>	A	
No.12	(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策  (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策  (5)安全・安心・快適な利用の確保	園内施設について、良好な運営・維持管理を行ったか。	<p>【実績】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、広場、スポーツ施設をはじめとする園内各施設の使用申込手続き対応を迅速に実施した。</li> <li>2、園内各所の利用者対応と運営管理を実施計画書に基づき実施した。</li> <li>3、イベントおよび開催時の各種運営管理を実施した。特にコロナ対応、受動喫煙防止について徹底した。</li> <li>4、実施計画書に基づき基本的な広報活動の実施・管理を実施した。</li> <li>5、園内掲示板、案内、サイン等の運営管理を行った。</li> <li>6、食堂・売店・自販機の利用促進と運営管理を行った。</li> <li>7、園内交通手段の運営管理を行った。</li> <li>8、駐車場・駐輪場の運営管理を行った。</li> <li>9、喫煙スペースの管理を行った。(喫煙室については三密回避のため閉鎖としていたが、2022年3月25日から供用を再開した)</li> <li>10、園内各種物品、文書・資料の管理を適切に実施した。</li> <li>11、太陽の塔クレジット決済を実装した。</li> <li>12、園内の点検・補修・修繕に関する管理を行った。</li> <li>13、危機管理マニュアルの改訂と運用を適切に実施した。</li> <li>14、議会、自治体、学校、ボランティア団体等との協力・連携を行った。</li> <li>15、公衆無料Wi-Fiの維持管理・利活用(日本庭園8か所の無料Wi-Fi設置、日本庭園八景等における動画等の多言語発信について検討中)</li> <li>16、野外展示物の日常点検・目視点検を実施した。</li> <li>17、フルディックウォーキングコースの日常管理と表示板改修と追加設置、更新手続きを行った(継続認証中)</li> <li>18、大阪府貸与物品について適切に管理した。</li> </ol> <p>【自己評価】</p> <p>良好な運営・維持管理のための報告書様式や報告経路の整備などにつき、大阪府の指導も仰ぎながら、継続的に改善を行った(はんこレスを導入)。利用者の安心、安全を最優先としつつ、快適な公園利用を通じた満足度の向上に結び付くよう、臨機応変な対応を行った。</p> <p>各種対応の遅れが発生しないように常に情報の共有を行い迅速に対応できるようにした。</p>	A	<p>履行確認の結果、実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○各園内施設の運営維持管理について、円滑・適切に実施された。現行水準を低下させることなく、利用者満足度の更なる向上に結びつく取組を期待する。</p>	A	
No.13		利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日常巡視(運営、警備、清掃、設備、緑地など各巡視業務を含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>平日昼間 2名1組 4班体制 午前・午後の2回 夜間 2名1組 1班体制で、夜間・早朝の2回実施。</li> <li>実施計画に基づき、適切に実施した。</li> </ul> </li> <li>●瑕疵発見・対応 <ol style="list-style-type: none"> <li>①喫煙に関する注意喚起の実施(喫煙場所以外での喫煙者への注意等)・・・適切に実施(警備巡回、サイン掲出等)。</li> <li>②危険行為に関する注意喚起の実施(ボールやラケット等による事故やケガへの注意等)・・・適切に実施(警備巡回、サイン掲出、持ち込み規制等)。</li> <li>③設備等の不具合への対応・・・発見後速やかに担当者へ連絡、対処(現場の立入規制設置やサイン掲出を含む)。</li> <li>④各種水道メータの検針(漏水の早期発見)・・・適切に実施</li> <li>⑤非常事態発生時の関係団体への連絡・・・適切に実施</li> <li>⑥救急/迷子/拾得物への対応・・・救急:80件、迷子:196件、拾得物:1,689件(2022年12月末現在)。</li> <li>⑦不法投棄の発見・処理(放置自転車を含む)・・・適切に対処。</li> </ol> </li> <li>●衛生・防犯 <ol style="list-style-type: none"> <li>①防犯対策・・・特に夜間の警備巡回とともに、自販機各社と連携し防犯カメラの活用を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※長らく散発していた自販機荒らしの被疑者を8/8に逮捕したとのこと、吹田警察より連絡あり。</li> <li>ひきつづき、夜間巡視を中心に警戒を継続していく。</li> </ul> </li> <li>②衛生管理・・・新型コロナウイルス拡散防止に関する案内の掲出・更新などに対応。 <ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフのマスク着用や応接マナー等の周知徹底。各施設・トイレ等にアルコール消毒液の設置を行った(継続中)。</li> </ul> </li> <li>③害獣・害虫等への対策・・・蜂の巣の早期発見と除去(サイン掲出等による注意喚起を含む)を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>野鳥等の死骸を発見した際は、不自然な兆候(鳥インフルエンザの症状等)がないかに配慮しつつ、適切に処理。</li> </ul> </li> <li>④強風・台風時等の対処・・・予防処置(飛散等のないように片づけやサイン掲出等)を行い、事後の回復や巡視・報告等を実施。</li> </ol> </li> </ul> <p>【自己評価】</p> <p>新型コロナウイルスの影響下において、平時の仕様を変更して対応を行った(警備・清掃ポストの削減など)。多客日には必要な増員を行いメリハリのある運営に努め、保安・衛生の管理面だけでなく、コスト面でも効率化に貢献したものと自己評価する。</p> <p>屋外スピーカーを用いた公園利用ルールのアナウンスについても、人員削減のなかにあって、日々、機器の移動・設置・回収・充電等の追加業務を継続している。</p> <p>2020年10月24日に発生した園内倒木事故を受けて発足した安全管理運営協議会を通じて、安全対策について定期的に情報を更新し、ひきつづき、日々の警戒に活用し、安全で快適な園内環境の維持に努めていく。</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○人員配置を適切に行い、対応を工夫するなどして利用者の安全確保に努められた。</p>	A	

No.	評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価	大阪府の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
				(S~C)	(S~C)	(S~C)	
No.14	(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (5)安全・安心・快適な利用の確保	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <p>○消防 消防訓練についてはエリアごと(自然文化園・日本庭園、運動施設)に年2回実施(実施月:8月・2月)</p> <p>○危機管理 ・緊急配備体制をリバイスした。 ・危機管理マニュアルに基づき情報の整理を行う(1月の合同防災訓練と連携) ・無線機の通信環境の確認と発着信テストの実施(1月の合同防災訓練と連携)</p> <p>■異常気象時対応 ・8月~10月に台風水防シフトを組み備えた。 ・1号配備:7月に2回 実施</p> <p>■新型コロナウイルス対応 ・新型コロナウイルス情報につき、公園入口(5ヶ所)にて、日本語・英語・中国語の注意喚起チラシを掲示。 ・公式ホームページにコロナウイルス関連について逐次掲出。 ・各スタッフへのマスク着用等対応などを周知徹底、各施設にアルコール消毒液の設置を指示・実施、継続中。 ・コロナ濃厚接触者に対して大阪府の報告フォームに準じて報告させるとともに、事態待機、職場除菌、大阪府広報との連携など迅速に対応した。</p> <p>【自己評価】 新型コロナウイルス対応についてはスタッフが初動でやるべきことを明確にし、BMP本体内、大阪府公園事務所、大阪府本庁と連携をとって迅速正確に対応を行った。実施計画書に基づいた水防体制にて、適切に水防体制配備および台風接近時の対応を行った。また、緊急時、適切に対応できるよう各種マニュアル、体制の整備を行っていく。</p>	A	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○防災訓練においては、府と連携し、参集から初動対応の確認を適切に実施された。引き続き、非常時対応について意識を持ち、来園者の安全・安心・快適な利用の確保に努められたい。</p>	A	
No.15	(6)府施策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>■府・公益事業への協力等</p> <p>・バビリオン新館工事に伴う本館避難経路等について検証中。 ・コロナの制限状況を見極めながら、自然文化園・日本庭園内の花の開花情報の発信実施 ・2020年(6月)より北口ゲート閉鎖、日本庭園正面ゲートおよび庭園前チェックポイントの無人化、公園北部エリアへの来園者誘導 ・日本庭園正面ゲートおよび庭園前チェックポイントの無人化、日本庭園正門の全開放実施中。 ・北口ゲートについて ※2021年度運用状況を見極め、2022年度も引き続き閉鎖。 ・大阪府の将来ビジョン策定に係るDXサウンディング公募についてBMPとしても協力</p> <p>■ボランティア対応</p> <p>・秋花壇の咲き終わったマリーゴールドの花びらから染料を取り、専門学生が染色して作品を制作する。 上田安子服飾専門学校と京都川端商店との協働企画について今年も実施に向け打合せを実施した。 ・大阪大学共生学専攻の学生との協働で園内のモデルルートを生徒の観点から考える企画を進行中。第一回目の現場視察を実施した。 ・火曜日・金曜日の週2回はNPO団体の指導の下、花壇の手入れ等ボランティア活動を実施。新規加入も随時募集している。 ・コミュニティガーデナー養成講座の実施・・・第3期講座を開講、受講生の募集開始。第一回目~五回の講座を実施。また第六回目の講座(2月)の準備中。 ・コミュニティガーデナー花壇の除草その他手入れを有志の受講生ボランティアと実施した。 ・コミュニティガーデナー講座第一回目~五回の講座を実施。また第六回目の講座(2月)の準備中。 ・講座受講生、修了生の中から有志によるバラの夏季剪定を実施した。</p> <p>■知的障がい者の就業 1、現従事者 1名の雇用継続中 2、清掃以外での雇用予定(2021年4月 運動施設のグラウンド整備業務で1名採用:以下記載) ・植栽管理業務 2名(2020年4月1日採用) ・グラウンド整備業務 1名(2021年4月採用) 提案時の雇用5名のうち、3名が大阪府が定義した要件と合致していないことが指定管理業務開始後に判明したため、追加でJV構成企業の直接雇用で3名の雇用を推進することになった。 ※要件と合致していないのは、構成企業の特例子会社で採用している3名。指定管理者の認識では「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に定められた特例子会社(親会社の一事業所とみなされる)の採用が要件外とされるとの認識がなかった。</p> <p>【自己評価】 新型コロナ対策として、各種対策・対応には全面的に協力している。一方で、公園の来園者数が以前並みには回復しておらず園内テナント等をはじめ維持管理業務に多大な支障をきたしている。また人件費、光熱水費、各種物価の高騰により通常の予測を超えた厳しい経営環境となっている。経費カットなど対応できる余力を超えた状態となっており、指定管理業務そのものの存続が懸念される状態。 障がい者雇用については通年で募集を検討しているものの、今年度については新型コロナウイルスの影響もあり進捗していない。また雇用を実現したものの種々の事情による退職もあり定着させることの難しさを実感している。特に受け入れ部門においても人材の継続雇用が厳しくなっている中、常にバックアップサポートが必要な障がい雇用者を継続勤務させ続けることの現実的な厳しさがある。</p>	B	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、概ね実施できているが、管理品質等に一部課題がある。</p> <p>○府や各団体と連携・調整を図りながら府施策へ協力いただいた。</p> <p>○知的障がい者の雇用については、対象業務を広げるなど、雇用の確保に努められたい。</p>	B	

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価	大阪府の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			(S~C)		(S~C)		
II さらなるサービスの向上に関する事項							
No.16	(1)利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けて業務改善を行うか。	<p>【実績】 今年度は2019年度以来となる春・秋 年2回の来園者調査となった。</p> <p>■利用者満足度調査の実施 2022年 5月(春) 11月(秋)実査 お祭り広場付近および東の広場付近で来園者アンケートを実施。ともに約計650サンプルを回収。来園の主たる目的は、「子どもを遊ばせるため」、「イベント参加」、「花や樹木の鑑賞」と変わらず。公園の管理状況について、全体的な満足度は「満足計」で98.6%と依然として高い評価。指定管理以降、最も高いスコアとなった。</p> <p>【自己評価】 公園管理としての満足度を落とすことなく業務に従事。一方、来園者アンケート内容もコロナ禍に即した質問を加え、公園の利用実態も把握した。また、アンケートからのフィードバックを活用し、新公園ポスターなども作成するなど、マーケティング活動にも活かしている。</p>	S	<p>履行確認の結果、事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。</p> <p>○アンケート結果をもとに、利用者ニーズを捉え、対応をすべく調整を図りたい。</p> <p>○指定管理者独自のアンケートについても実施を期待する。</p>	A	
No.17	(2)その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>イベントごとやワークショップなど</p> <p>【実績】 ●ローズフェスタ(5月) ・京都川端商店バラの香り染めワークショップ 計:33名 ・レイメイキング ワークショップ 計:24名 ・バラのポプリボトル作りワークショップ 計:100名 ・春を楽しむリアルボタニカルのアクセサリー作りワークショップ 計:52名 ・ローズマイスター青木亨治によるバラ園ガイドツアー 計:38名 ●ローズフェスタ(10月) 秋のローズフェスタ内のイベントとして、バラ園を散策しながらのローズガイド、バラの花びらで染めるバラ染め、バラの花びらをすくう子ども向けの「お花すくい」やバラ園クイズラリーなど、バラに触れながらバラの知識を深めてもらうセミナー・ワークショップを実施した。 ●クリスマスローズイベント(2月、3月開催)</p> <p>【自己評価】 新型コロナウイルスの影響が残るなか、感染防止対策を講じた上で実施を行った。また密を避けながらセミナーやツアーガイド、期間中にキッチンカーの出店を行うなど来園された方に喜んで頂けるコンテンツを実施した。全体を通して来園者に好評であり満足頂ける結果となり、継続して実施できるように創意工夫する。</p>	A	○花との触れ合いを通じて、来園機会の拡大や公園の魅力創造を行うなど、適切に取り組まれた。	A	



評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
No.18	(1)投資及び収支計画の内容、適格性及び実現の程度、経理関係	投資及び収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。  【実績】 単位:百万円※税抜き 予 算 収入1,559百万円 支出1,903百万円 収益▲344百万 ※収支差について大阪府からの支援を要望。前提は収益±0 実 績(予測含) 収入1,438百万円 支出1,762百万円 収益▲324百万 予算対比(予測含) 収入0、支出0、収益0 補填金(予測含む) 累計 324百万円  【自己評価】 上期のコロナ影響による集客不足と燃料費・人件費などの高騰により大阪府からの支援が無い限り約3億の収支赤字となる見込み。何も支援がなければ、運営継続を断念せざるを得ない状況。	A	履行確認の結果、事業実施計画に示した事項について、適切に実施できておらず、管理品質等に重大な課題がある。  ○令和4年度においては、昨年度評価においても指摘した、指定管理者指定申請に際して提案した投資5億円(基本協定書第13条等)の執行に向けた計画が提出されず、また、募集要項で提示する額(41,584千円)と同額以上を執行する必要があるとされている補修・修繕費についても、これに達していない。また、収支計画書の提出義務等(基本協定書第10条等)について、履行確認等において繰り返し是正するよう求めたが改善されず、その承認が10月28日までずれ込んだ結果、今年度評価の手續に支障が生じた。基本協定書等に定められた義務を再認識その履行に厳に努められたい。	C	
No.19	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)  【実績】 ○配置人員 総括管理責任者 1名、副総括責任者 1名(令和4年6月人事異動に伴う変更があった)、運営管理業務責任者 1名 維持管理業務責任者 1名、警備主任 1名、公園電気主任技術者 1名 他 募集要項に準ずる 上記職員を適切に配置した。	A	履行確認の結果、事業実施計画に示した事項について、適切に実施できている。  ○管理体制については、適切に配置されている。	A	
No.20	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	【実績】 ○有資格者の配置(兼務有) 防火管理者1名、エネルギー管理講習修了者1名、1級造園施工管理技術士1名、農業安全管理士1名、第3種電気主任技術者1名、2級陸上特殊無線技士1名 ボイラー技士1名 上記職員を適切に配置した。	A	履行確認の結果、事業実施計画に示した事項について、適切に実施できている。  ○必置技術者については、適切に配置されている。	A	
No.21	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)  本事業の損失により各社の本業に大きな影響を与えている状況。本指定管理業務の継続が困難な状況である。	B	今年度においては、新規イベントの獲得など来園者増に向けた取組みが見られた。引き続き収入増に向けた取組みを継続し、指定管理者として自立した経営に努められたい。 各構成企業の経営状況を確認したところ、本指定管理業務の継続が困難な状況とまでは認められない。	B	

※総合評価においては、選定時の配点を鑑み、※1については6倍、※2については4倍、※3及び※4については1.5倍の重みづけを行う。

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	大阪府の評価	評価 (S~C)	評価委員会の指摘・提言
				令和4年度総合評価		<b>B</b>

**本公園における、項目毎の評価の目安は、以下のとおり。**

- S（優良）：当該年度の事業実施計画書に示した事項を適切に実施。  
かつ、応募時の提案以上を実施。
- A（良好）：当該年度の事業実施計画書に示した事項を適切に実施。
- B（ほぼ良好）：当該年度の事業実施計画書に示した事項を  
概ね実施できているが、管理品質等に一部課題がある。
- C（要改善）：当該年度の事業実施計画書に示した事項が  
適切に実施できておらず、管理品質等に重大な課題がある。

※事業実施計画書に示した事項には、協議により変更した事項を含む

**年度毎の総合評価は、次の4段階とする。**

- S（項目ごとの評価のうちSが5割以上で、B・Cがない）
- A（項目ごとの評価のうちBが2割未満で、Cがない）
- B（S・A・C以外）
- C（項目ごとの評価のうちCが2割以上。  
又は、Cが2割未満であっても、文書による  
是正指示を複数回行う等、特に認める場合）